

## まち・ひと・しごと創生推進事業 事業別台帳

■2019(令和元)年度

【所管課：生涯学習課】

<b>事業名</b>	クリエイター創業者育成事業	<b>事業区分</b>	1-④-(2)	
<b>基本目標</b>	1. 稼げる地域産業をつくる	<b>数値目標</b>	雇用創出及び創業者数を増やす 5年間で100人(者) 市町村民所得を増やす 5年間で5%上昇	
<b>主な施策</b>	④官民の連携と新たな地域産業の創出	<b>KPI</b>	地域社会発展のための包括的連携協定に基づく協定メンバーによるプロジェクト創出件数 20件(5ヵ年累計) 創業・第二創業者数 50件(5ヵ年累計) 空き店舗、工場等への誘致数 5件(5ヵ年累計)	
<b>【事業目的】</b>				
<p>合志市の産業について、地域経済分析システム(RESAS)を活用し産業構成をみると、付加価値ベースで約7割は製造業に依存し、情報通信業は0.69%で全国値の4分の1程度となっている。依存している製造業は資金の域内循環が低く、景気の変動に大きく影響されるリスクを抱えている。また、当市の面積の約9割が都市計画法等により開発が規制されており、今後、さらに大規模な企業誘致を実現するのは困難など雇用の創出には産業の多様化が必要である。さらに、当市の昼夜間人口比率は2010年時点で88.6%で、商業の売場面積が県内14市のうち最低水準であるなど、労働力や購買力が域外に流出している。そのため、農業をはじめとする従来の基幹産業の振興も図りつつ、地域に活性化をもたらす新しい産業が重要と考える。</p> <p>一方、人口動向を分析すると、ほとんどの年齢層が転入超過により人口が増加するなか、15歳から24歳までの層が平成21年から平成26年までの5年間で314人転出するなど、若者のみが転出超過となっている。また、地方創生に関する市民アンケートでは、転出を考えている若者(15歳～24歳)のうち、66%が合志市に戻らないと答えており、その理由の42%が「就職したい会社がないから」と回答している。しかし、平成27年度に開催した「合志市クリエイター塾シンポジウム」参加者アンケートによれば、10代・20代の参加者が34.4%と若者の関心の高さがうかがえる。したがって、地域で生まれ育った若者の希望や夢につながる仕事を地域で創出することが必要と考えられる。</p> <p>そのような状況を踏まえ、当市では我が国の成長産業とされ海外からも高く評価されている「コンテンツ産業」に着目し、平成24年度から様々な取り組みを実施し、平成27年度からは地域産業化に着手し、東京のコンテンツ企業や高等教育機関、地域金融機関、市商工会等と連携しながら、将来コンテンツクリエイターを目指す若者を対象とした「合志市クリエイター創業者成塾」を核とし、クリエイターを目指す地域の若者に必要なスキルを習得させるとともに、就業や創業に繋がる支援を行うことで、コンテンツ産業の地域産業化を図るとともに、新たな産業を担う人材育成に取り組むもの。</p>				
<p>■KPI：創業・第二創業者数</p> <p>①雇用及び創業者数の創出 20件/達成時期：H32年3月(～H31.3 実績：5件) ②クリエイター創業者成塾受講数 100人/達成時期：H32年3月(～H31.3 実績：80人) ③コンテンツ関連企業立地 2件/達成時期：H32年3月(～H31.3 実績：0件)</p>				
<b>【事業概要】</b>				
<p>①合志市クリエイター塾 (平成30年度)平成30年9月～平成30年12月(全12回)</p> <p>本市が新たな地域産業化と就労や創業支援を図る施策として、専門家からものの考え方を始めとした幅広い技術習得できる場の提供として開催している。市民を中心に受講者を募り、毎年40名程度の応募の中から20名程度の受講者を選考している。現在、株式会社ロボットを中心に授業のスケジュールを立て、企画方法やブランディング・マーケティングについての講義を経て、実際の撮影現場に立ち合い、撮りたての素材を基に編集を行い、自分自身の作品を作り上げている。12コマの講義の中には、経営、財務、知的財産権、資金計画等の創業に関する知識習得を含ませており、創業に直結できるよう商工振興課が行う相談会等と連携している。</p> <p>②合志市クリエイター塾生の実績 (平成30年度)クリエイター塾の修了生の取組みとして、「里モンプロジェクト」において本市農産物のPR動画作成や菊池地域農畜産物PR事業に関するチラシの作成等を行った。 また、平成30年度塾生の2人が個人事業主として起業したほか、15名の塾生および塾修了生がコンテンツ関連で報酬を得ている。</p>				
<b>■事業期間：</b> 2015～2021(平成27～33年度)		<b>■本年度の予算額(補助金等財源がある場合は名称・補助率・額等を記載)：</b> 11,329千円【地方創生推進交付金(交付率50%：5,500千円)】		
<b>【事業の仕組み・体系図】</b>				
<p>本事業は経済産業大臣及び総務大臣認定の産業競争力強化法第113条第1項に基づく創業支援事業であり、本市と包括的協定を締結している企業等で運営している。市がまとめ役として企画・立案・窓口相談等全体を総括しており、各機関の役割は以下のとおり。</p> <p>【株式会社ロボット】 クリエイター塾のコーディネート・WEBサイト構築及び市場開拓</p> <p>【日本政策金融公庫】 創業資金計画の指導並びに相談受付</p> <p>【市商工会及び特許庁】 創業経営・財務計画の指導並びに支援、就労支援</p> <p>【特許庁】 知的財産権等法律指導</p> <p>【熊本高等専門学校】 受講生の参加支援及び施設・備品の貸与支援</p>				
<b>【2019年度 予算内訳】</b> (単位：千円)				
節	項目	内訳	計	節計
職員手当等	時間外手当(育成塾運営及び協議)	2,000円×2H×2人×11日	88	88
負担金	クリエイター創業者成塾負担金		17,000	17,000
				0
			<b>事業費計</b>	<b>17,088</b>

【行程表】 2015～2019（平成27～31）年度 実施計画				
実施年度	K P I	行程：P I	検証・その他	
2015 (H27)	クリエイター育成塾受講者数：20人 雇用及び創業者数の創出：2件	8月	プレシンポジウムの開催（参加者100名）	D ↓ P ↓ C A ・実施状況確認・検証
			シンポジウムの開催（参加者350名）	
		9月～12月	クリエイター育成塾の実施（全12コマ）	
		12月	次年度事業の詳細検討・予算要求	
		2月	合志市誕生10周年記念式典で優秀作品発表 近隣自治体との広域連携に向けた協議（熊本市、水俣市ほか3市町）	
		3月	本年度事業内容協議及び確認	
2016 (H28)	クリエイター育成塾受講者数：20人 雇用及び創業者数の創出：4件	5月	熊本県広域連携プロジェクト推進補助金申請	D ↓ P C A ・実施状況確認・検証
		6月	熊本メディアコミッション協議会（MCC）負担金支払い 総合戦略推進会議へのH27年度事業報告及びH28年度事業詳細説明	
		7月	市場開拓及び参画事業者拡充に伴う事業者訪問：5社	
		8月～12月	クリエイター育成塾の実施（全12コマ）・WEBサイト構築	
		9月	インキュベーション施設整備検討 平成29年度事業計画の見直し・詳細検討 H29年度予算要求方針検討	
		11月	インキュベーション施設整備に伴う関係機関協議	
		1月	広域連携プロジェクト会議	
		2月	WEBサイト運営開始	
		3月	事業完了報告書の確認及びH28年度事業検証	
		2017 (H29)	クリエイター育成塾受講者数：20人 雇用及び創業者数の創出：4件	
4月	WEBサイト運営委託			
7月	協議会設立			
7月	合志市クリエイター塾に関する説明会開催			
8月～12月	クリエイター育成塾の実施（全12コマ）			
8月	オンライン授業開設準備			
9月	平成29年度事業計画の見直し・詳細検討等検討 H30年度予算要求方針検討			
1月	協議会開催			
2018 (H30)	クリエイター育成塾受講者数：20人 雇用及び創業者数の創出：5件	4月	総合戦略推進会議へのH29年度事業報告及びH30年度事業詳細説明	D ↓ P C A ・実施状況確認・検証
		4月	WEBサイト運営委託	
		6月	協議会開催	
		8月～12月	クリエイター育成塾の実施（全12コマ）	
		9月	平成30年度事業計画の見直し・詳細検討 H31年度予算要求方針検討	
		10月	コワーキングスペース設置及び企業誘致のためのニーズ調査	
		1月	協議会開催	
		3月	事業完了報告書の確認及びH30年度事業検証	
2019 (H31)	クリエイター育成塾受講者数：20人 雇用及び創業者数の創出：5件 コンテンツ関連企業立地：2件	4月	総合戦略推進会議へのH29年度事業報告及びH31年度事業詳細説明	D ↓ P C A ・実施状況確認・検証
		4月	WEBサイト運営委託	
		7月	コワーキングスペース改修開始	
		8月～12月	クリエイター育成塾の実施（全12コマ）	
		9月	平成31年度事業計画の見直し・詳細検討 H32年度予算要求方針検討	
		10月	コワーキングスペース使用開始	
		1月	協議会開催	
		2月	事業完了報告書の確認及びH30年度事業検証	

# 合志市くりエイター塾2018 活動報告書

株式会社ロボット  
柳井研

# 塾説明会

8/9・10

合志市役所と熊本市の未来会議室で合志市クリエイティブアイタ-塾の説明会を実施。今回も平日ながらも多くの方にお越しいただきました！

実際に授業を受けていくつかの映像を制作された卒業生を迎え、過去の授業風景の映像を見ながら“どんなことを学ぶのか”や“授業を受けたことで意識できたこと”などをご紹介します。

説明会後には、プロデューサーの柳井さん、卒業生の志柿さんに質問されています。沢山いらっしゃると思います。



# 企画の準備

## 9/22

塾生23名と一般参加者15名程度が集まり、2018年度の授業がスタート。講師はROBOTの演道家でありクリエイティブ・ディレクター 清水さん。

今期の題材は、合志市の企業2社。その取材方法を学び、さっそく現地で実践研修。1社目のオオヤブデイリーフームさんは、全国テレビで紹介されたりいくつかの賞を獲得している“ミルコロ エイジングヨーグルト”を作っている企業。

2社目は、今月出来たばかり、ぞうさんのはな保育園。社長の“地域の人たちとの繋がりに”への想いは素晴らしく、保育園の成り立ちについても熱く語ってくださいました。

伺った情報を整理して、映像制作につなげる目的のためかたを明日以降習っていきます。



# ブランド作り

## 9/23

「動画を制作する」「企画を考える」「商品売り出す」ためにも、重要なブランディングやマーケティングについての講義をクリエイティブディレクター兼コピーライターである廣澤さんに担当していただきました。

企業理念の考え方については、ライバルとは違う自分たちだからこそ、MISSION(私たちはこのために頑張っている)・VISSON(そのミッションを達成するため、これをやる)・VALUE(企業○○は、こんな価値観で仕事に取り組んでいく)のMVVをしっかりきめるところが重要だと学びました。塾生の何名かにも自分の中のMVVを発表し、アドバイスを頂きました。

ブランドは、知ってもらわないとブランディングの意味がない。様々な手段の中でも考え方が理解されやすいのは企業広告。しかし、アピールの仕方には工夫が必要です。そこで、アピールポイントの整理の仕方についてもお話していただきました。



# 熊本のクリエイター 10/13

熊本の先輩クリエイターを講師に招き活動内容を伺いました。「まちをLIVEする」をミッションに動画配信を中心とした活動をしていらっしゃる齊場さん。電鉄アオガエルをクラウドファンディングで復活させるなど趣味を仕事にされるスタンスで活動されているお話を伺いました。

ドローンメディア「Dration」を運営している稲田悠樹さんからも様々なお話を。20程度の職を経験し、現在はドローンが活動の主軸となっているそう。熊本で撮影した映像やドローンだからこそできた活動、サーモカメラを使用した活動など未来の可能性を感じる話を伺えました。



## クラウドファンディング 10/13

クラウドファンディングについて、CAMPFIREの茅島さんにもお越しいただきました。そもそもクラウドファンディングってどんなものなの？というルールがあってどんな流れなの？という話を分かりやすくお話していただきました。お話の中でプロジェクトを作る上で重要な6大要素を伝授いただきました。

その後、秋に食べれるハロウィンスイカをクラウドファンディングで発信した場合、どう売り出すかをチームに分かれて話し合い発表しました。

自分達が伝えたいことだけではまったく届かず、視聴者が楽しい！お得！と想像できる情報を伝えることが成功への近道のように感じられる内容でした。





# 企画演出案発表表

## 11/15

『企画の準備』『ブランディング』を通じて学んだ内容を何度か講師とやり取りした内容を発表してもらった時間でした。

オオヤブデイリーファームのヨーグルトの紹介には、牛にも従業員にも街にも配慮して一緒に成長していく想いと、酪農家を続けるためにももう少し効率的に生産し（だから工場化する）ながら売りあげ約倍増を目指すという経営ビジョンを両立させた紹介を目指すべき。

ぞうさんのはな保育園は、園児だけでなく園児の親が園に愛着を持ってもらえる地域の誇りとなる保育園を目指す様子を描く。こうしたゴールが正しいのはいかとはアドバイスもらいました。

明日は、そのゴールを目指して撮影編集の授業を行います。



# 撮影&編集 11/16

前日に発表した演出案を形にするべく撮影と編集の授業を実施しました。

まずはヨーグルトを撮る。「美味しそう」「美味しい」とセリフで言わず、そう感じてもらおう為に、何度も何度も見え方を調整しながら撮りなおしました。あと、光のある方を調整することで全く見え方が変わるのでその辺を実践していただきました。

午後からは編集の授業。まずはプラン通りに素材を並べてみるが、つなげてみると狙っていたこととのズレも気になり、考えでは作り直すことを繰り返します。



# クリエイターの 起業&法律知識 12/15

1限目は熊本で大活躍するクリエイターたちの起業話を伺いました。

国内外の有名映画にVFXコンポジター(合成や消しこみ作業)として関わる山口さん、デザイナー、クリエイティブディレクターだけでなく社会起業家として活躍する佐藤さん、地震を機に熊本での活動を始めたカメラマン兼ディレクターの中島さん、いろんなプロジェクトにひっぱりだこのデザイナー杉村さんが、挫折と成長のエピソードをたくさんお話いただきました。

2限目は、著作権の話でした。

写真や動画を撮影する際に映り込んでもよいもの・いけないもの、ときどきニュースにも取り上げられるパクリ問題について、うかつに使うてはいけない表現などについてお話しいただきました。

これから創作活動を行ううえで大切な知識を学びました。



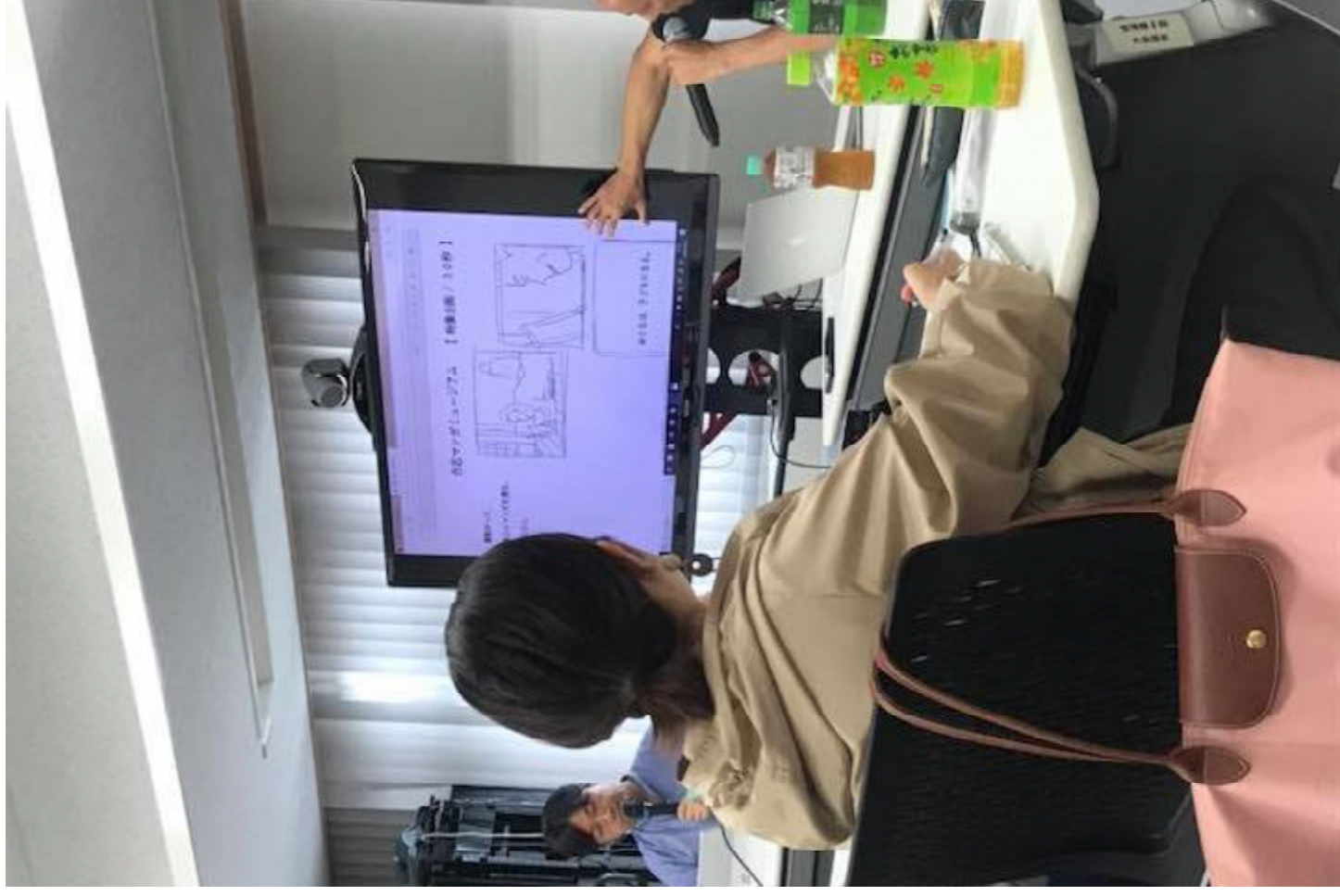
# 作品発表表

## 12/15

9月から4ヶ月間、2つの企業さんを題材に動画をつくってききましたが、プロが撮った素材を使うこともでき、企業が一番伝えたい部分、伝えることでより魅力的に見える部分がきちんと届くように編集する方法を学びました。

生徒作品をひとつひとつ解説していくので、比較しながらよりリアルに良し悪しやアイデアの重要性が感じられたように思います。

短い期間の中で一つの作品をつくりあげたこと事態が素晴らしいことですが、作ってみたいからわかる次の壁を生徒の皆様にも実感いただけたこととなり、多くの生徒が来年も参加したと意向を述べられました。





授業以外にも  
勉強会イベントを  
実施いたしました。

09/21 動画の作り方

10/12 動画の作り方

11/23 SNS活用方法 →登壇者が体調不良で中止

12/14 SNS広告の始め方

公開イベント

SNSの活用方法と  
個人メディアのつくり方

講師：塩谷舞

勉強会 /

SNS広告の始め方 (設定レクチャー)

勉強会 /

映像制作 & 拡散方法

# PR用WEBサイトのリニューアルし、 塾のコンセプトを明瞭に伝える形に変更

三



地域の魅力を届ける市民作家を育成しています



自分で、  
発信できる。  
人になる。

合志市クリエイター塾と出

## 塾生・市民クリエイター



一覧

## 次回講座

### LESSON EVENT

合志市クリエイター塾2018 説明会 in合志市役所

8:30(開)  
17:00-18:30  
定員100名

講師：野村 伸（プロデューサー）

2018年度 創業プログラム

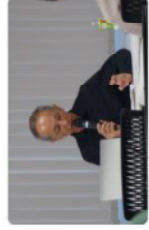
## 作品・お知らせ



【10月イベント】Dec.20,2018 UP  
2018年度：クリエイターの起業



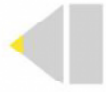
【10月イベント】Dec.20,2018 UP  
2018年度：クリエイターが抱えている悩みを知



【10月イベント】Nov.20,2018 UP  
2018年度：企画も読者も読



2018年度受講生の募集



# 合志市クリエイター塾

KOSHI CREATOR SCHOOL  
since 2015

## 市民クリエイターたち

ふだん  
JA職員



溝口 知紗さん

ふだん  
僧侶



龍水 明信さん

ふだん  
学童保育の先生



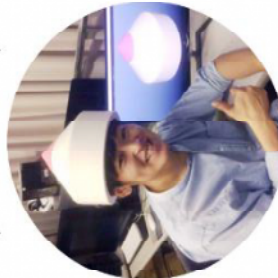
錦島 日向子さん

ふだん  
プログラマー



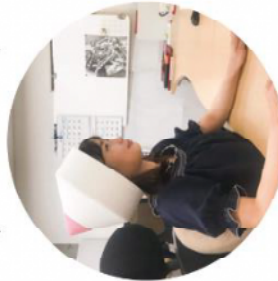
田中 光太さん

ふだん  
VFXコンポジター



野路 結貴さん

ふだん  
デザイナー



野村 紗日美さん

ふだん  
カメラマン



仲村 稟寿徳さん

ふだん  
お母さん



永目 佐智子さん



# プレスリリースを配信し、約20のメディアに掲載

報道関係者各位  
プレスリリース

2018年7月31日  
合志市クリエイター塾

## 2018年度生徒募集中!

**熊本県合志市の取り組む新しいシニアプロモーションのがたち  
市民クリエイターを育成し、地元の魅力を発信する!**

熊本県合志市は、地元の魅力を伝える市民クリエイターを育てる「合志市クリエイター塾」第4期生の募集を開始いたしました。これまでの活動から様々な市民クリエイターが誕生しました。NIKEのWeb映像制作に携わる発信や、期間しをを行うNPOを設立し代表を務めるおゆきさん・・・、ぜひその卒業生の活躍と共に今年からは地元の名産品・企業、MSCのみなさまにお任せしては、ぜひその卒業生の活躍と共に今年からは地元の名産品・企業を題材の行う授業カリキュラムの取組を取組んでまいりますよう、お楽しみ申し上げます。

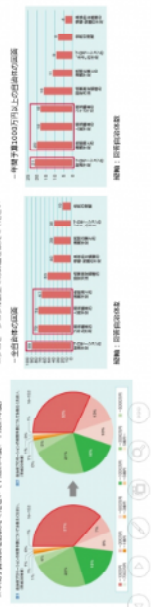


## 合志市クリエイター塾 KOSHI CREATOR SCHOOL since 2015

### ーシニアプロモーションにおける地方自治体の課題ー

地方自治体の大きな課題は、地域資源、地域産業、新しい取り組みに十分なプロモーション予算、支身体制を構築することが難しい点にあります。平成29年度のシニアプロモーションの実績ですが、年間予算100万円以下の自治体が全体の32%、500万円以上が全体の55%と過半数を占めています。1000万円以上を計上している自治体でも、プロモーション取扱不足、「人材不足」「スキル不足」に課題があると考えている状況です。予算や人材不足を踏まえたらうで、何にどう取り組むかという課題が必ずあつてきます。

シニアプロモーションの実態 県庁内各自治体(2018年) 自治体別 自治体別(40歳以上) 自治体別(40歳以上) 自治体別(40歳以上)



## まち・ひと・しごと創生推進事業 事業別台帳

■2019(令和元)年度

【所管課： 生涯学習課】

<b>事業名</b>	文化を核とした観光交流拠点整備計画	<b>事業区分</b>	1-④-(3)
<b>基本目標</b>	1. 稼げる地域産業をつくる	<b>数値目標</b>	・雇用創出数及び創業者数を増やす。(5年間で100人増加) ・市町村民所得を増やす(5年間で5%上昇)
<b>主な施策</b>	④官民の連携と新たな地域産業の創出	<b>KPI</b>	・創業・第二創業者数 50件(5ヶ年累計)

**【事業目的】**

本市の新たな観光資源となる「合志マンガミュージアム」を整備し、平成29年7月にオープンした。  
同ミュージアムには、県内トップクラスの貸出率を誇る西合志図書館と天体ドームの40cm反射望遠鏡を有する天文台が隣接しており、これら3施設が一体的に連携・機能することで、交流人口の拡大、地域価値の向上、賑わいの創出に相乗効果を発揮するポテンシャルを有している。しかしながら、平成29年度当初は、当該施設間のエントランスやアプローチが別々であることから、空間的な連動が機能していなかったため、施設を結びつける導線確保(エントランスの新設)するとともに、一体感を形成する空間(中庭)を整備することで、交流人口の拡大、地域価値の向上、賑わい創出の相乗効果を高めることとする。  
また、地域価値の向上、地域経済の好循環につなげるため、中庭にレンタル制の店舗(チャレンジショップ)を設置し、地域の起業創業(スモールビジネス)を目指す方々などの事業を支援する。  
さらに、マンガミュージアム内の遊休執務室(旧文化財復元作業室)をオフィスルームに改修し、マンガ関係の民間団体へ貸し出すとともに、当該団体がマンガミュージアムの企画運営等に関わることで、マンガを核とした公民連携による地域づくりの活動拠点とする。  
これらの取組みにより、地域一帯を新たな広域交流エリアとビジネスの発信拠点とすることで、交流人口の拡大と地域経済の好循環を図るもの。

■KPI: ①合志マンガミュージアムの入館料 2,200千円/達成時期: R3年 3月(～H31.3 実績:4,630千円)  
 ②合志マンガミュージアムの入館者数 15,000人/達成時期: R3年 3月(～H31.3 実績:52,601人)  
 ③チャレンジショップの売上高 1,800千円/達成時期: R3年 3月(～H31.3 実績:不明)  
 ※R1年度より売り上げ調査中

**【事業概要】**

(1)マンガミュージアムと西合志図書館、天文台を結びつける導線確保のため、3施設をつなぐ中庭の整備を実施した。平成30年3月末(前回報告)時点ですでに、合志マンガミュージアムの入館料および入館者数KPIの目標指標を達成していた。  
 (2)中庭にチャレンジショップを設置し、活用を進めている。  
 平成30年度はカレー・かき氷・コーヒー等計5件(6日間)の利用があった。  
 また、利用促進のため、軒先ビジネスに登録し、インターネット上で全国公開募集を行っている。

■事業期間： 2016～2019(平成28～31年度)	■平成30年度の予算額(補助金等財源がある場合は名称・補助率・額等を記載)： 19,195千円【(交付額: 0千円)】
--------------------------------	--

**【事業の仕組み・体系図】**

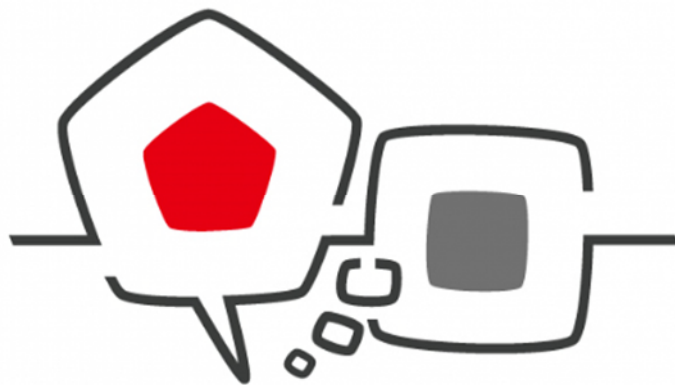
※事業のターゲットや関係団体等がある場合はそれぞれの役割を明確にすること

- 【株式会社こうし未来研究所】  
マンガミュージアム管理運営事業の受託者
- 【NPO法人熊本マンガミュージアムプロジェクト】  
合志マンガミュージアムの企画運営、企画展開催

【2019年度 予算内訳】				(単位: 千円)
節	項目	内訳	計	節計
委託料	マンガミュージアム運営管理委託		18,530	18,530
			事業費計	18,530

【行程表】 2015～2019（令和1～31）年度 実施計画				
実施年度	K P I	行程：P I		検証・その他
2015 (H27)				
2016 (H28)		4月	マンガをテーマとした公的不動産利活用業務委託	P
		6月	マンガミュージアムワークショップ	
		7月	公用車での移動マンガミュージアム開催（西原村）	
		9月	公用車での移動マンガミュージアム開催（益城町）	
		11月	マンガミュージアム改修工事着工	D
		12月	マンガ資料選別・整備・配列等業務委託契約	
		12月	ミニマンガミュージアム開催	
		2月	ロゴ・サインのデザインに係る研究委託	
		3月	各委託業務完了。完了検査	・実施状況確認・検証
2017 (H29)	①入館料 2,200千円 ②入館者数 15,000人 ③チャレンジショップの売上高 1,800千円	5月	文化を核とした観光交流拠点整備業務委託	P
		6月	マンガミュージアム運営業務委託	
		7月	合志マンガミュージアムオープン	D
		8月	文化庁メディア芸術アーカイブ推進事業着手（予定）	
		11月	企画展・シンポジウム開催	
		3月	各業務委託完了。H29年度事業検証	・実施状況確認・検証
2018 (H30)	同上	4月	マンガミュージアム運営業務委託	P D
		10月	企画展・シンポジウム開催	
		3月	事業完了報告書の確認及びH30年度事業検証	・実施状況確認・検証
2019 (H31)	同上	4月	指定管理者制度移行（H31. 4. 1～R2. 3. 31）	P D
		11月	企画展・シンポジウム開催	
		3月	事業完了報告書の確認及びH30年度事業検証	・実施状況確認・検証

まち・ひと・しごと創生推進事業  
平成30年度 事業報告



合志マンガミュージアム

K O - S H I M A N G A M U S E U M

2018年度 合志マンガミュージアム事業実績

※( ):日付

事業名	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
スタッフ会議		第1回(3) 第2回(10) 第3回(17) 第4回(24)	第5回(1) 第6回(8) 第7回(22) 第8回(29)	第9回(5) 第10回(12) 第11回(19) 第12回(26)	第13回(10) 第14回(19) 第15回(24)	第16回(3) 第17回(21) 第18回(28)	第19回(11) 第20回(19) 第21回(26)	第22回(9) 第23回(23)	第24回(9) 第25回(22)	第26回(14) 第27回(27)	第28回(11) 第29回(25)	第30回(8) 第31回(22)	第32回(8) 第33回(22)
	幹部(顧問)会議	第1回(3)	第2回(1)	第3回(5)	第4回(10)	第5回(1)	第6回(4)	第7回(10)	第8回(7)	第9回(5)	第10回(9)	第11回(8)	第12回(6)
	合志マンガ義塾	第21回(14) 第22回(28) 第23回(28)	第24回(12) 第25回(26) 第26回(26)	第27回(9) 第28回(12) 第29回(16) 第30回(26)	第31回(14) 第32回(28) 第33回(28)	第34回(11) 第35回(28) 第36回(28)	第37回(11) 第38回(28) 第39回(28)	第40回(11) 第41回(28) 第42回(28)	第43回(11) 第44回(28) 第45回(28)	第46回(11) 第47回(28) 第48回(28)	第49回(11) 第50回(28) 第51回(28)	第52回(11) 第53回(28) 第54回(28)	第55回(11) 第56回(28) 第57回(28)
ワークショップ「体験教室」等	つけペン体験教室(8) 著名漫画家くまモンの贈送復興メッセージ	つけペン体験教室(13) 著名漫画家くまモンの贈送復興メッセージ	つけペン体験教室(10) 著名漫画家くまモンの贈送復興メッセージ	つけペン体験教室(8) 著名漫画家くまモンの贈送復興メッセージ	つけペン体験教室(9) 著名漫画家くまモンの贈送復興メッセージ	つけペン体験教室(12) 著名漫画家くまモンの贈送復興メッセージ	つけペン体験教室(9) 著名漫画家くまモンの贈送復興メッセージ	つけペン体験教室(14) 著名漫画家くまモンの贈送復興メッセージ	つけペン体験教室(18) 著名漫画家くまモンの贈送復興メッセージ	つけペン体験教室(9) 著名漫画家くまモンの贈送復興メッセージ	つけペン体験教室(20) 著名漫画家くまモンの贈送復興メッセージ	つけペン体験教室(17) 著名漫画家くまモンの贈送復興メッセージ	つけペン体験教室(17) 著名漫画家くまモンの贈送復興メッセージ
特別展示	著名漫画家くまモンの贈送復興メッセージ	著名漫画家くまモンの贈送復興メッセージ	著名漫画家くまモンの贈送復興メッセージ	著名漫画家くまモンの贈送復興メッセージ	著名漫画家くまモンの贈送復興メッセージ	著名漫画家くまモンの贈送復興メッセージ	著名漫画家くまモンの贈送復興メッセージ	著名漫画家くまモンの贈送復興メッセージ	著名漫画家くまモンの贈送復興メッセージ	著名漫画家くまモンの贈送復興メッセージ	著名漫画家くまモンの贈送復興メッセージ	著名漫画家くまモンの贈送復興メッセージ	著名漫画家くまモンの贈送復興メッセージ
出張マンガミュージアム	さくら祭り(7~8)												
イベント		合志マンガ祭り(22) 川崎のぼるトークショー 忍者ショー							ナイトミュージアム(2・3)			トークショー「ぼるの時代を語る」(23)	ナイトミュージアム(23~24)
特集冊													
その他													

項目	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
入館者数(人)	2,154	1,685	1,749	3,068	4,904	2,680	1,722	1,830	1,448	1,411	1,726	2,500
入場料売上額	15,300	136,100	118,800	254,400	402,000	267,500	134,500	125,100	93,600	108,300	142,100	149,900
グッズ等売上額				38,800	24,800	5,900	7,300	5,200	1,500	600	1,500	0
入場者数	入場者数											
入場券売上げ	入場券売上げ											
グッズ売上げ	グッズ売上げ											

## 2018年度 合志マンガミュージアム活動内容

### □イベント

2018年7月22日(日) 合志マンガまつり 2018

平成30(2018)年7月22日(日) 10:00~16:00 開催

#### ①合志MMオリジナルグッズ販売開始



#### ②川崎のぼるトークショー

13:30~15:00 西合志図書館集会室 先着 70席

合志マンガミュージアム開館1周年記念 川崎のぼるトークショー

聞き手：橋本博 進行：鈴木寛之 来賓：濱田善也副市長





貴重作品展示コーナー



③忍戦・狐面づくり

11:00～11:30 ひまわり公園

忍者チャンバラ「忍戦—SHINOSEN—」(協力：熊本忍者連盟)



15:00～15:30 御代志市民センター体育館 (※ひまわり公園から会場変更)

忍者チャンバラ「忍戦—SHINOSEN—」(協力：熊本忍者連盟)



12:30～13:25 多目的室 狐面をつくろう!! (協力：熊本忍者連盟)

参加費 500 円 先着 30 名

④こうしMM マルシェ

10:00~16:00 合志 MM 横駐車場 こうしMM マルシェ (協力: ROCKET GOLD STAR)



2019年2月23日(土) 「ぱふ」の時代展



展示用キューブ



トークイベント

トークイベント 「ぱふ」の時代を語る

2月23日(土) 午後2時30分~4時 入場無料・定員40人 西合志図書館 集会室

出演: 柳澤 健 (ノンフィクションライター・元「ぱふ」編集部員)

中村公彦 (自主製作漫画誌展示即売会「コミティア」実行委員会代表。

元「ぱふ」編集長)

猪飼幹太 (「COMIC リュウ」編集長。元「ぱふ」編集長)

聞き手: 橋本 博 (合志マンガミュージアム館長)



□ナイトミュージアム

2018年11月2日(金) 19:00~24:00 ナイトミュージアム

2019年3月23日(土) 20:00~24日07:00 第2回ナイトミュージアム



第2回ナイトミュージアム 実施状況

□2018年度 合志マンガ義塾 開催記録

- 04/14 第21回 日本マンガの原点—忍者マンガ 【橋本博】
- 04/28 第22回 熊本の歴史・文化をマンガで描く—合志・湯前・天草・玉名 【橋本】
- 05/12 第23回 ‘70年代少女マンガ語り 【橋本】
- 05/26 第24回 時代を変えた二人の「影丸」  
—「忍者武芸帳 影丸伝」と「伊賀の影丸」— 【橋本】
- 06/02 第25回 コミックの効果音 ～国境を超えるサウンドシンボル  
【井島ワッシュバーン・パトリック】
- 【※兼 日本マンガ学会 九州マンガ交流部会 第53回例会】



第25回

- 06/16 第26回 東村アキコの世界 【紀川弘之】
- 07/14 第27回 川崎のぼるの足跡 —忍者マンガから絵本まで— 【橋本】
- 07/28 第28回 高橋留美子の妖怪たち —「うる星やつら」「犬夜叉」「人魚の森」など—  
【パトリック】
- 08/11 第29回 世界に広がるNINJAブーム—NARUTOがもたらしたもの— 【橋本】
- 08/25 第30回 松本零士の漫画進化論  
～『銀河鉄道999』の「星野鉄郎」と、夢を追いかける少年たち～ 【パトリック】

09/01 第31回 幕末期の忍者マンガ 【橋本】

09/22 第32回 漫画におけるハーフキャラの役割 ～『サイボーグ009』の「島村ジョー」  
から『名探偵コナン』の「灰原哀」まで～ 【パトリック】

10/13 第33回 「新・忍法十番勝負 熊本版」 ～合志編～ 【橋本】

10/27 第34回 忍者 VS カウボーイ 【パトリック】 ※15:30 開始



第34回

11/03 第35回 「新・忍法十番勝負 熊本版」 ～高森編～ 【橋本】



第35回

11/17 第36回 短歌とマンガ 【向井ゆき子・中村青史・橋本博】 ※15:30 開始



第36回

12/8 第37回 (※兼 九州マンガ交流部会第55回例会) 【鈴木】【パトリック】

「ゲゲゲの鬼太郎」にみる妖怪50年史  
メディアとしてのマンガ - 浦沢直樹『BILLY BAT』を事例に-



第37回

12/22 第38回 「新・忍法十番勝負 熊本版」 ～天草編～ 【橋本】



第38回

01/19 第39回 マンガ研究誌とその時代(1) 「漫画主義」から「ぱふ」まで



第39回

02/09 第40回 マンガ研究誌とその時代(2) 「ぱふ」からファンZINEまで



第40回

03/09 第41回 ルフィと仲間たちがつなぐストーリー【橋本】



第41回

03/23 第42回 WS「マンガミュージアムのこれからを考える」



第42回

西合志庁舎及び周辺施設配置図

